

翔陽 高等学校 令和8年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 現代の歴史総合 みる・読み解く・考える 改訂版 ）

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したりすることを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 欧米列強の成立と日本の近代化 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 帝国主義と世界大戦 【思考力、判断力、表現力等】 大衆政治とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 第二次世界大戦と戦後国際秩序 【思考力、判断力、表現力等】 戦後日本の独立とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 冷戦と世界経済 【思考力、判断力、表現力等】 世界経済の成長とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 グローバル化する世界 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和8年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科 地理歴史 科目 地理総合 単位数 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】位置や範囲、縮尺などに着目し、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	【知識・技能】 日常生活の中でみられる地図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲などに着目して、目的や内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		○	○	4
	【知識及び技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようしている。	○			7
	定期考査						0
	【知識及び技能】人々の生活文化が地形や気候から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現力等】地域の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地形や気候から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	【知識及び技能】人々の生活文化が言語や宗教から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現力等】場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	世界の言語と人々の生活文化 世界の宗教と人々の生活文化	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が言語や宗教から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○		○	6
	定期考査						1

翔陽 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 公民 科目 公共

单位数： 2 单位

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】主体的に社会と関わり、意欲をもって学ぶ姿勢を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
扱っている内容、知識、情報について適切に理解することができている。	知識を活用し、グループワークや討論、小論文などにおいて適切に表現することができている。	積極的かつ主体的に授業を受け、課題と向き合うことができている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。	公共的な空間と人間とのかかわり 社会に参画する自立した主体として	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	6
	よりよく生きることについての自覚を深められている。	人間としてのあり方生き方についての探究 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	定期考査						0
	生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付くことができる。	公共的空間における基本的原理	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究できている。	自立とした主体となることに向けてよりよい公共的な空間づくりをめざして	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	定期考査						1
2 学 期	日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。	法や規範の意義と役割 契約と消費者の権利・責任 司法参加の意義	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	13
	定期考査						0
	日本の政治について課題を発見し、解決する見通しが持てている。	政治参加と公正な世論の形成 雇用と労働問題 社会の変化と職業観	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学 期	政府が経済に果たしている役割を理解できている。 金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。	市場経済の機能と限界 金融のはたらき 財政の役割と社会保障	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	13
	定期考査						1

合計

70

翔陽 高等学校 令和 8 年度（2 学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究基礎

单位数： 2 单位

使用教科書：（日本史探究 詳説日本史 山川出版社）

の目標：

【知識及び技能】 査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力

【学びに向かう力、人間性等】 解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵
 養される日本国民としての自覚 我が国の国土や歴史に対する愛情 他国や他国の文

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章「日本文化のあけぼの」～第3章「律令国家の形成」を理解する	日本文化のあけぼの 律令国家の形成	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 についてまとめる	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第4章「貴族政治の展開」～第6章「武家政権の成立」を理解する	貴族政治と国風文化 中世社会の成立	貴族政治と国風文化 中世社会の成立 についてまとめる	○	○	○	14
	定期考査						1
2 学期	第7章「武家社会の成長」～第8章「近世の幕開け」を理解する	武家社会の成長	武家社会の成長 についてまとめる	○	○	○	12
	定期考査						1
	第9章「幕藩体制の成立と展開」～第10章「幕藩体制の動揺」を理解する	幕藩体制の成立 幕藩体制の動揺	幕藩体制 幕藩体制の動揺 についてまとめる	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学期	第10章「幕藩体制の動揺」を理解する	幕藩体制の動揺	幕藩体制の動揺 についてまとめる	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和 8 年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究基礎

使用教科書：（ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連と現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章「文明の成立と古代文明の特 質」を理解する	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 についてまとめる	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第1章「文明の成立と古代文明の特 質」を理解する	南アジアの古代文明 中国の古代文明 南北アメリカ文明	南アジアの古代文明 中国の古代文明 南北アメリカ文明 についてまとめる	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第2章「中央ユーラシアと東アジア 世界」を理解する	草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成	草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成 についてまとめる	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○	○	1
	第3章「南アジア世界と東南アジア 世界の展開」 第4章「西アジアと地中海周辺の国 家形成」を理解する	仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定 着 東南アジア世界の形成と展開 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家	草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成 についてまとめる	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第4章「西アジアと地中海周辺の国 家形成」 第5章「イスラーム教の成立とヨー ロッパ世界の形成」を理解する	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 アラブの大征服とイスラーム政権の 成立 ヨーロッパ世界の形成	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成 についてまとめる	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

单位数： 4 单位

)

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第10章「幕藩体制の動揺」を理解する	幕藩体制の動揺	幕藩体制の動揺についてまとめる	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	第11章「近世から近代へ」～第12章「近代国家の成立」を理解する	近世から近代へ 近代国家の成立	近世から近代へ 近代国家の成立 についてまとめる	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	第13章「近代国家の展開」を理解する	近代国家の展開	近代国家の展開についてまとめる	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	第14章「近代の産業と生活」 第15章「恐慌と第二次世界大戦」を理解する	近代産業と昭和恐慌 満洲事変、第二次世界大戦と太平洋戦争	近代産業と昭和恐慌 満洲事変、第二次世界大戦と太平洋戦争 についてまとめる	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	第16章「占領下の日本」～第18章「激動する世界と日本」を理解する	占領と改革 冷戦の開始と講和	占領と改革 冷戦の開始と講和 についてまとめる	○	○	○	28
	定期考査						
							合計
							140

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究
 教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 4 単位
 対象学年組：第 3 学年 2 組～ 4 組
 使用教科書：（ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）
 教科 地理歴史 の目標：

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づいて議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度【学びに向かう力、人間性等】を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	世界の歴史の実現に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第7章「ヨーロッパ世界の変容と展開」 第8章「東アジア世界の展開とモンゴル帝国」を理解する	西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパの中世文化 アジア諸地域の自立化と宋 モンゴルの大帝国	ラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパの中世文化 アジア諸地域の自立化と宋 モンゴルの大帝国についてまとめる	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	第9章「大交易・大交流の時代」 第10章「アジアの諸帝国の繁栄」 第11章「近世ヨーロッパ世界の動向」を理解する	アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想	アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想をまとめる	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	第12章「産業革命と環大西洋革命」 第13章「イギリスの優位と欧米国民国家の形成」 第14章「アジア諸地域の動揺」 第15章「帝国主義とアジアの民族運動」を理解する	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 西アジア諸地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第二次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 西アジア諸地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第二次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動についてまとめる	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
	第16章「第一次世界大戦と世界の変容」 第17章「第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成」 第18章「冷戦と第三世界の台頭」を理解する	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺をまとめる	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	第19章「冷戦の終結と今日の世界」を理解する 個別指導	産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相	産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相についてまとめる	○	○	○	28
	定期考査						
							合計
							140

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 日本史演習

单位数： 2 单位

)

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章「日本文化のあけぼの」～第3章「律令国家の形成」を理解する	日本文化のあけぼの 律令国家の形成	日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 律令国家の形成 についてまとめる	○	○	○	12
	定期考査						0
	第4章「貴族政治の展開」～第6章「武家政権の成立」を理解する	貴族政治の展開 院政と武士の躍進 武家政権の成立	貴族政治の展開 院政と武士の躍進 武家政権の成立 についてまとめる	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第7章「武家社会の成長」～第9章「幕藩体制の成立と展開」を理解する	武家社会の成長 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開	武家社会の成長 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開 についてまとめる	○	○	○	15
	定期考査						0
	入試問題への対応力をつける 個別指導	入試問題演習	入試問題演習への取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	入試問題への対応力をつける 個別指導	入試問題演習	入試問題演習への取り組み	○	○	○	14
	定期考査						
合計							70

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 世界史演習

单位数： 2 单位

)

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・諸地域の歴史的特質の形成について理解する	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・諸地域の歴史的特質の形成について理解する ・諸地域の交流・再編について理解する	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	・諸地域の交流・再編について理解する ・諸地域の結合・変容について理解する	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジア諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパの動向 第12章 産業革命と環太平洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	・地球世界の課題について理解する	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	入試問題への対応力をつける 個別指導	入試問題演習	入試問題演習への取り組み	○	○		14
	定期考査						0
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 公民 科目 倫理

单位数： 2 单位

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】主体的に自他と関わり、意欲をもって学ぶ姿勢を養う。

の目標：

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ソクラテス・プラトン・アリストテレスなどの思想家が求めた善・美の事柄、国家のあり方、人間観などについて理解できている。	ギリシア思想 古代中国の思想	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	6
	各宗教の特性や歴史的経緯について理解できている。	人生と宗教 人生と芸術	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	定期考査						0
	理性への信頼と人間の尊厳 ルネサンス期の人々、宗教改革の担い手、モラリストといわれる人たちの業績やその主張について理解できている。	ルネサンスの自立的な人間像 宗教改革と信仰の心	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	デカルト・ベーコンやその後の経験論・合理論の立場に立つ思想家の主張について理解できている。	モラリストの人間観察 近代科学の誕生	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	定期考査						1
2 学 期	ホップズ・ロック・ルソーが、どのように国家の権力が生まれ、その権力はどうかあるべきと考えたかについて理解できている。	科学的なものの見方・考え方 科学技術と平和・環境問題 自然法思想 近代の理性的人間像	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	13
	定期考査						0
	キルケゴール・ニーチェ・ヤスパース・ハイデッガー・サルトルといった実存主義の思想家が主体的に生きるということについてどのような主張をしているのか理解できている。	人生と働くこと 幸福と生きる力 真実の自分を求めて ヒューマニズムと人類の平和	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	フロム・ウェーバー・リースマンらが、自由という概念がどのように変質し現在どうとらえられていると主張しているのか理解できている	新しい知性と現代の思想	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	8
	個別指導						6
	定期考査						0
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

单位数： 2 单位

使用教科書：（「政治經濟」（東京書籍））

【学びに向かう力、人間性等】主体的に社会と関わり、意欲をもって学ぶ姿勢を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
扱っている内容、知識、情報について適切に理解することができている。	知識を活用し、グループワークや討論、小論文などにおいて適切に表現することができている。	積極的かつ主体的に授業を受け、課題と向き合うことができている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	日本国憲法第9条に対する解釈や判例、自衛隊の実態やアメリカとの同盟関係、国際社会への貢献などについて、知識を獲得させる。	日本国憲法の平和主義 国民所得と経済成長	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	金融の仕組み、その仕組みを理解し、金融の原理と、グローバル化が進む現状の課題について、様々な考えを知り、自ら考え、自分の意見をまとめる。	金融の仕組みと働き 財政の仕組みと租税	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	6
	定期考査						1
	戦後日本経済の歩みについて、歴史的経緯を学び、日本経済の現状と課題について様々な考えを知り、各自の意見をまとめる。	戦後日本経済のあゆみ 少子高齢化社会と社会保障	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	7
	国際社会の組織化と国連について多角的な視点から理解し、現代日本をめぐる国際環境について、様々な考え方を知り、自らの意見をまとめる。	国際社会と国際法 国際社会の組織化	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	6
	定期考査						1
2 学 期	貿易と国際収支について、その仕組みを理解し、現状と課題について、様々な考え方を知り、自らの考えをまとめる。	戦後国際政治の展開 貿易と国際収支 国際経済の仕組み 地域主義の動き	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	13
	定期考査						1
	軍拡競争と軍縮がどのような経緯をたどってきたのか理解させるとともに、冷戦後および現代の軍縮の課題について考えさせる。	核兵器の廃絶と軍縮問題 地域紛争と人種民族問題	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	13
	定期考査						1
3 学 期	戦後日本外交の未解決の懸案事項と、その歴史的経緯を理解させるとともに、その解決の方向について考察させる。	日本の国際的地位と役割	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 小論文の達成度 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	8
	個別指導						6
	定期考査						0
							合計
							79